

グッドキャリア企業アワード2018

大賞受賞

[厚生労働大臣表彰]

コニカミノルタ株式会社



KONICA MINOLTA

評価のポイント

時代の要請にも対応した自律的なキャリアビジョンの実現を
本人・上司・会社の三位一体で支援

経営者からのメッセージ

この度の大賞受賞、大変光栄に存じます。「本人・上司・会社」三位一体での従業員の自律的なキャリア形成支援に対する地道な取組が評価され、大変嬉しく思います。

これからも一人ひとりが働きがい・やりがいを持ち、「個が輝く会社」を目指し取り組んで参ります。

常務執行役
人事・総務担当
若島 司



企業概要

- 事業概要: 情報機器事業及び、ヘルスケア事業の開発・製造・販売、ソリューション・サービスの提供。
産業用材料の開発・製造・販売
- 業種: 事務用機械器具製造業
- 所在地: 東京都千代田区
- 従業員数: 6,670人
(男性5,472人/女性1,198人、
内非正規雇用110人)
- 平均年齢: 45.6歳
- 創業年: 1873年(設立年: 2003年)

キャリア形成支援担当者紹介

[キャリア形成支援の取組をして良かったこと]

従業員からの感謝や御礼の言葉や、ビジョン実現のための行動開始の報告を直接に頂くことができたこと。

[キャリア形成支援の取組で苦労したこと]

「自らのキャリア自律の重要性」を活動を通して理解して頂くこと。

戸田 武弘
大澤 以清
行本 智
岩井 康幸
白石 晋一
中野 美方



コニカミノルタ株式会社の具体的な3つの取組

取組をはじめたきっかけとこれまでの経緯

コニカとミノルタの経営統合当初より、従業員一人ひとりの主体的・自律的なキャリア形成に重点をおき、「本人・上司・会社」の三位一体での取組として展開しています。

また、社会・事業環境の大きな変化に合わせて、能力開発機会・育成プログラム・多様な人財が働きやすい環境等をタイムリーに提供し、成長を支援しています。

1

「人財のトランスフォーム」を進めるため、面談を通じた長期キャリアビジョンの作成とその実現に向けたPDCAを実行

従業員の自律的なキャリア形成支援として、『CDS(Career Development Support:自己申告)』を毎年全従業員を対象に実施しています。各自が「3年後のありたい姿」を描きながら、自己の棚卸しと今後1年間の能力・キャリアの開発目標と計画を定めます。また、日々の業務を通じて能力開発ができるよう上司と面談を行い、目標と計画を共有します。CDSでは半年後及び1年後に各自が振り返りと上司との面談を行うことで、PDCAサイクルが確実に回せる仕組みにしています。

2

「キャリアサポート室」を整備し、全従業員を対象に、節目となる年齢におけるキャリアデザイン研修や面談を実施

管理職・一般職を問わず全従業員を対象として、節目となる年齢(30・40・50・55)にてキャリアデザイン研修を実施しています。昨年度で、50歳以上の全従業員が研修を受講しています。また、研修講師も『キャリアサポート室』に所属する専任のキャリアアドバイザーが担当しています。

キャリアアドバイザーは、全国の主要拠点(関東・東海・関西)に常駐し、研修受講者全員(一般職)の受講後フォロー、及びキャリア入社者・単身転勤者など大きな環境変化があった人や本人希望のキャリア面談にも対応しています。キャリアアドバイザー全員が社内での豊富な業務経験を持っており、各自の悩みや希望に寄り添いながらの面談が行えることが特徴です。



3

公募型自己啓発教育「コニカミノルタカレッジ」、若手海外派遣プログラム、兼業・副業の解禁など多面的なキャリア支援を展開

『課題提起型デジタルカンパニー』としてお客様のニーズを先取りした社会的課題に貢献していくには、イノベーションの創出が重要であり、そのための多面的なキャリア支援を展開しています。

事業環境変化に柔軟に対応した能力開発機会「コニカミノルタカレッジ」の提供、若手層のキャリア自律(自らのアイデンティティ確立)を狙いとした「若手海外派遣プログラム」の開始、多様な働き方と共に、個人が様々な経験・知見を持つための「兼業・副業の解禁、ジョブリターン制度の導入」、多様な人財や組織の壁・役割を越えた交流の促進「ネットワーキング施策」などを進めています。

取組の効果について

自己実現に向けて前向きな意欲を持ち行動を起こす社員の増加

「本人・上司・会社」三位一体での自律的なキャリア形成支援への取組と社会・事業環境の変化に対応した、より良い成長の機会や働く環境の提供により、自らのキャリアを主体的に考え、自己実現に向けて前向きな意欲を持ち行動を起こす社員が増えてきています。

1

前述の取組①の効果について

若手層や女性社員の着実な成長

CDSは、自分の強み・課題を棚卸ししながら、中期(3年)・短期(1年)のキャリア開発目標と計画について、上司と話し合う大切な機会として従業員に浸透しています。直近5年間での実施率は、ほぼ100%となっています。また、主体的な自己実現やキャリア形成の機会である人財公募制度の活用も年々増加しています。目標に向け挑戦する意識と行動促進の定着により、育成の重点課題として取り組んできた若手層や女性社員が着実に成長し、管理職任用者中の対象層比率も増加してきています。

2

前述の取組②の効果について

自発的希望によるキャリア相談件数増加

キャリアデザイン研修は、50歳代全従業員が受講完了しており、全年齢層においても、約7割が受講完了しています。研修を通じて、「会社への貢献と自己実現を踏まえたキャリアを自ら考える」ことの必要性と重要性が社内に浸透してきたと感じています。また、本人の自発的希望によるキャリア相談件数も増加しており、これも「本人が問題意識を持ち自ら行動していく」というキャリア自律意識の一つの表れと受けとめています。相談も、制度理解などの説明依頼から、将来の目標・成長に関することなど自己実現に向けた前向きで意欲的な内容が増えていきます。

3

前述の取組③の効果について

能力・スキル獲得への研鑽意欲の向上

- ・公募型自己啓発機会である「コニカミノルタカレッジ」では、強化すべき能力・スキルの明示と内容の拡充により、昨年度の受講者は対前年比2.7倍になりました。
- ・「若手海外派遣プログラム」で派遣者は、海外環境でも怯むことなく新たなことにチャレンジし、現地スタッフとも積極的に交わり、多くの気づきや学びを得ています。
- ・「兼業・副業」制度は、導入後10ヶ月で24件の申請があり、挑戦意欲や社外でも通用するプロフェッショナルリティ獲得に向けた研鑽意欲が高まってきていると感じています。

今後の課題と展望

社会・事業環境の変化に合わせた取組で「個が輝く会社」を目指して

従業員のキャリア形成支援のためには、社会や事業環境の変化に合わせた取組が益々重要になると考えています。

これまでの活動の継続と時代の先を見据え先取りした支援策を示し、一人ひとりが働きがい・やりがいを持ち、常に「個が輝く会社」を目指し取り組んでいきます。

社員の声

- Q1 自身のキャリアを考えるきっかけ(制度・出来事など)とは?
- Q2 その後、取り組まれたことや起こった変化とは?
- Q3 築いたスキルを今後どう活かしていくか、または将来ありたい姿とは?



ダイバーシティ推進室
末永 千絵

- A1 CDSは、自分の業務経験を振り返り、職域拡大も含めたキャリア開発を考える機会になりました。
- A2 自分の強みや課題は何か、本当に自分が成し遂げたいことは何かを考えました。そして、ダイバーシティ推進室へ異動。これまでの経験を活かし、新たなキャリアを歩んでいます。
- A3 人の気持ちや感情を大切にし、それぞれが持つかけがえない個性を發揮し、より輝ける場を創っていきたいと思います。



IoTサービスPF開発統括部
小熊 久美子

- A1 自らの専門性をさらに高めるとともに、今後必要となる専門スキル強化を考えて、ICT社内スキル認定に必要な教育を受け、KMプロダクトオーナー“Standard”に合格しました。
- A2 自分の専門性が活かせる職務として、Cyber Physical Systemプラットフォームのサービス開発リーダーを担当しています。
- A3 自分の強みであるITスキルをさらに磨きながら、それを活用して、多様な事業のソリューション開発をリードしたいと考えています。



ヘルスケア事業本部
伊藤 亨

- A1 40代後半に企業人としての50代を考え、築いてきた能力の集大成を意識し転職しました。入社後『キャリアデザイン研修』で60歳以降をイメージできていないことに愕然とし、セカンドライフの選択肢を考えるようになりました。
- A2 研修をきっかけに「自身の為に」を中心に考え行ってきた行動を、「組織・会社・社会の為に」なる様に変えて行きたいと思い始めています。
- A3 将来、業務では「解りやすくスキル継承をすること」を継続すると共に、今までついてきてくれた妻の笑い声を聞き続ける日々を自分のなりたい姿としてイメージしています。



プロフェッショナルプリント事業本部
李 侑珍

- A1 若手海外派遣プログラムで半年間、海外販売会社にて販売最前線を経験してきたことです。
- A2 多様なバックグラウンドを持つ方々から、効率的な働き方を学んだり、多方面での物事を考える姿勢を勉強し、身に付けられました。
- A3 将来は、更に広い視野を持って、文化やダイバーシティを理解した上で市場を牽引する、グローバルで通用する人財になりたいと考えてます。